



貢献するゴール



仙台防災協力

- ◆ 2015年3月、日本は仙台にて第3回国連防災世界会議をホスト。
 - ー 2030年までの国際的指針「**仙台防災枠組2015-2030**」を共同議長国として取りまとめ。
 - ー 同時に、日本自身の取組として「**仙台防災協カイニシアティブ**」を表明。
(2015年～2018年の4年間で、**4万人の人材育成**、**40億ドルの資金協力**を実施。2018年末までに達成。)



- ◆ 2019年6月、「**仙台防災協カイニシアティブフェーズ2**」を発表。
 - (例) 仙台防災枠組達成に向けて、2019～2020年の2年間で、**80か国の防災計画策定・改定を支援**。
 - ー 2019年には、気候変動適応に関する支援として、58か国に対して洪水に関する防災計画策定・改定の支援を実施。

美しい星への行動 2.0 (Actions for Cool Earth: ACE2.0)

- ◆ 2015年11月、COP21において、日本は我が国の**気候変動に関する途上国支援**を拡充し、**2020年に官民合わせて約1.3兆円**、2015年の1.3倍にすることを表明。
 - ー 地熱発電、都市鉄道、**防災インフラ**、水確保など日本の得意分野で貢献。
 - ー その他、アジア・太平洋島嶼国における早期警戒システム構築や都市間連携・人材育成も推進。